



2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月8日

上場会社名 レック株式会社 上場取引所 東
コード番号 7874 URL <https://www.lecinc.co.jp>
代表者(役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 青木 光男
問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員(氏名) 増田 英生 (TEL) 03-3527-2150
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 2024年12月10日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	32,693	10.1	1,230	31.5	1,568	51.0	1,121	136.4
2024年3月期中間期	29,688	10.7	936	△32.5	1,038	△20.0	474	△63.3

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 1,607百万円(43.0%) 2024年3月期中間期 1,124百万円(△10.0%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	32.77	32.49
2024年3月期中間期	13.66	13.53

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	87,672	33,656	36.6
2024年3月期	89,244	37,593	39.8

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 32,103百万円 2024年3月期 35,559百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2025年3月期	—	10.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,000	5.3	1,500	△7.9	1,650	△2.2	1,000	25.6	30.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	38,165,340株	2024年3月期	38,165,340株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	6,938,892株	2024年3月期	3,294,292株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	34,206,981株	2024年3月期中間期	34,714,241株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、当社は株式給付信託を導入しており、株式給付信託が所有する当社株式については、自己株式に含めております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	7
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の回復等から、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、ウクライナ及び中東地域をめぐる情勢による原燃料価格の高止まりや、中国における景気の低迷及び欧米における高金利の継続等に伴う円安の進行等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当グループの属する日用品業界におきましては、所得環境は改善しつつあるものの、物価の上昇に賃金の上昇が追い付かない状況が続き、実質賃金が依然として低迷していること等から、消費者の節約志向は継続しており、経営環境は厳しい状況で推移いたしました。

このような環境の中、当グループでは、消費者の趣味嗜好に沿った各種キャラクター製品や節約志向の消費者ニーズに対応した製品等の開発に注力するとともに、新製品発表会等による積極的な販促活動により業容の拡大を図ってまいりました。また、ライオン株式会社より譲り受けた「グロモント」及び「グロンサン」のドリンク剤事業を速やかに継承すべく努めてまいりました。一方で、円安や原材料高等による調達コストの高止まりや運送費をはじめとする諸経費も上昇していることから、引き続き製品のリニューアルや業務工程の見直し等による生産性の向上に注力し、コスト削減に努めてまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、キャラクター関連新製品の売上が伸長したことやドリンク剤事業が2024年7月から加わったこと等から326億93百万円(前年同期比10.1%増)となりました。利益につきましては、円安や原材料・輸入諸経費をはじめとする諸コストは上昇しましたが、増収効果等により利益率が改善したことから営業利益は12億30百万円(前年同期比31.5%増)、経常利益は15億68百万円(前年同期比51.0%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は、連結子会社の解散決定に伴い評価性引当額が減少したこと等から11億21百万円(前年同期比136.4%増)となりました。

また、事業の品目別の売上高の状況は、次のとおりであります。

品目の名称	前中間連結会計期間(百万円)	当中間連結会計期間(百万円)	前年同期比(%)
家庭用日用雑貨品	12,488	13,025	+4.3
清掃・衛生用消耗品	11,199	12,798	+14.3
その他	6,000	6,869	+14.5
合計	29,688	32,693	+10.1

注)各品目の代表的製品等は、以下のとおりです。

家庭用日用雑貨品…プラスチック製品、化学合成品、金属製品、繊維製品等
 清掃・衛生用消耗品…紙・水・ウレタン製清掃用消耗品、不織布製衛生用消耗品、各種洗剤等
 その他…虫・ウィルス等対策品、化粧品、家電製品、食品、趣味嗜好品、ドリンク剤等

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ15億72百万円減少し、876億72百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ30億60百万円減少し、543億95百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少15億44百万円及び、商品及び製品の減少10億16百万円によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ14億87百万円増加し、332億76百万円となりました。主な増加は、無形固定資産の増加26億56百万円であり、主な減少は、有形固定資産の減少11億32百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ23億65百万円増加し、540億15百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ17億91百万円減少し、103億20百万円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金の減少9億3百万円及び短期借入金の減少4億円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ41億56百万円増加し、436億95百万円となりました。これは主に、長期借入金の増加43億69百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ39億37百万円減少し、336億56百万円となりました。これは主に、自己株式の増加47億58百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ17億2百万円減少し、186億92百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は37億57百万円(前年同期は28億98百万円の増加)となりました。主な増加は、減価償却費15億71百万円、税金等調整前中間純利益13億29百万円及び棚卸資産の減少額11億5百万円であり、主な減少は、法人税等の支払額6億63百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は51億62百万円(前年同期は9億64百万円の減少)となりました。これは主に、事業譲受による支出30億66百万円及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出12億37百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は4億75百万円(前年同期は20億13百万円の増加)となりました。主な増加は、長期借入金の純増加額47億50百万円であり、主な減少は、自己株式の取得による支出48億12百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績見通しにつきましては、2025年3月期第2四半期(中間期)までは前回予想を上回って進捗しておりますが、今後「グロモント」及び「グロンサン」のドリンク剤事業の業容拡大のためリブランディングを進め、2025年正月開催の第101回「箱根駅伝」でのTVCM放映を皮切りに、その他にもTVCMをはじめとする積極的な広告宣伝・販売促進活動を展開する予定であり、当該費用等の増大が見込まれることから、2024年8月9日に公表いたしました通期の業績予想の変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,001	31,456
受取手形及び売掛金	10,686	10,088
有価証券	470	770
商品及び製品	9,457	8,441
仕掛品	619	639
原材料及び貯蔵品	2,317	1,957
その他	907	1,043
貸倒引当金	△4	△0
流動資産合計	57,455	54,395
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,831	7,735
機械装置及び運搬具(純額)	5,752	5,305
その他(純額)	9,712	9,123
有形固定資産合計	23,296	22,164
無形固定資産		
のれん	4	2,730
その他	461	391
無形固定資産合計	465	3,121
投資その他の資産		
投資有価証券	6,645	6,657
その他	1,380	1,332
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	8,026	7,989
固定資産合計	31,788	33,276
資産合計	89,244	87,672

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,242	2,385
短期借入金	400	—
1年内返済予定の長期借入金	5,303	4,400
未払法人税等	790	547
製品保証引当金	34	7
賞与引当金	404	407
災害損失引当金	35	35
その他	2,901	2,537
流動負債合計	12,111	10,320
固定負債		
長期借入金	37,030	41,400
株式給付引当金	269	264
退職給付に係る負債	312	292
資産除去債務	27	27
その他	1,898	1,710
固定負債合計	39,539	43,695
負債合計	51,650	54,015
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,491	5,491
資本剰余金	7,236	7,269
利益剰余金	21,655	22,427
自己株式	△1,967	△6,726
株主資本合計	32,415	28,461
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,425	2,667
繰延ヘッジ損益	2	1
為替換算調整勘定	759	1,013
退職給付に係る調整累計額	△43	△40
その他の包括利益累計額合計	3,143	3,642
新株予約権	206	173
非支配株主持分	1,828	1,379
純資産合計	37,593	33,656
負債純資産合計	89,244	87,672

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	29,688	32,693
売上原価	21,576	24,285
売上総利益	8,111	8,408
販売費及び一般管理費	7,175	7,177
営業利益	936	1,230
営業外収益		
受取利息	29	50
受取配当金	48	62
為替差益	38	182
助成金収入	35	—
その他	73	208
営業外収益合計	224	503
営業外費用		
支払利息	90	118
持分法による投資損失	26	33
その他	4	14
営業外費用合計	121	165
経常利益	1,038	1,568
特別損失		
固定資産除却損	0	93
関係会社株式売却損	—	145
特別損失合計	0	238
税金等調整前中間純利益	1,038	1,329
法人税、住民税及び事業税	508	470
法人税等調整額	△45	△250
法人税等合計	462	219
中間純利益	575	1,110
非支配株主に帰属する中間純利益	101	△10
親会社株主に帰属する中間純利益	474	1,121

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	575	1,110
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	384	242
繰延ヘッジ損益	78	△2
為替換算調整勘定	82	254
退職給付に係る調整額	2	3
その他の包括利益合計	548	497
中間包括利益	1,124	1,607
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,020	1,619
非支配株主に係る中間包括利益	103	△11

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,038	1,329
減価償却費	1,987	1,571
のれん償却額	74	74
株式報酬費用	69	△10
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	12	12
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△2	△27
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△23	△19
株式給付引当金の増減額(△は減少)	△3	△4
受取利息及び受取配当金	△77	△113
支払利息	90	118
為替差損益(△は益)	△30	△61
関係会社株式売却損益(△は益)	—	145
売上債権の増減額(△は増加)	△1,141	135
棚卸資産の増減額(△は増加)	736	1,105
その他の流動資産の増減額(△は増加)	134	15
仕入債務の増減額(△は減少)	△236	490
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△83	△450
その他	34	82
小計	2,577	4,393
利息及び配当金の受取額	84	120
利息の支払額	△95	△123
法人税等の支払額	△90	△663
法人税等の還付額	364	30
その他	58	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,898	3,757
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△874	△5,680
定期預金の払戻による収入	889	5,573
有形固定資産の取得による支出	△1,785	△932
無形固定資産の取得による支出	△19	△6
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	1,300	145
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△473	△7
事業譲受による支出	—	△3,066
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△1,237
その他	△0	49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△964	△5,162

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,600	—
短期借入金の返済による支出	△1,400	—
長期借入れによる収入	7,800	7,000
長期借入金の返済による支出	△5,574	△2,250
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△56	△54
自己株式の取得による支出	—	△4,812
配当金の支払額	△355	△358
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,013	△475
現金及び現金同等物に係る換算差額	63	177
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,011	△1,702
現金及び現金同等物の期首残高	14,405	20,394
現金及び現金同等物の中間期末残高	18,417	18,692

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年8月29日開催の取締役会決議に基づき、自己株式3,728,000株の取得を行っております。この結果、当中間連結会計期間において自己株式が48億12百万円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が67億26百万円となっております。

(セグメント情報等の注記)

当グループは、日用品の企画・製造・販売を主な内容として事業活動を展開しており、「日用雑貨衣料品事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。